

- 問1 フランシスコ＝ザビエルによる日本での活動に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 1549年に鹿児島へ上陸し、キリスト教の布教を始めた。 | 2. 種子島に漂着し、領主の種子島時堯に鉄砲を伝えた。 | 3. 大名らに勧め、天正遣欧少年使節をローマへ派遣させた。 | 4. 織田信長と会見し、京都での布教と南蛮寺の建設を許された。 |
|--------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
- 問2 戦国大名が定めた独自の法律の中には、「喧嘩（けんか）両成敗」のように、家臣同士の私的な争いを厳しく禁じる規定が多く見られます。このような厳しい法を大名が制定した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 天皇から授けられた裁判権を行使して、公家社会の秩序を維持するため | 2. 家臣同士の私的な紛争を抑え、領国内の団結と大名による統治権を強めるため | 3. 室町幕府が定めた全国一律の裁判基準を、各地の家臣に徹底させるため | 4. 家臣たちの実力を認め、それぞれの領地での自由な行動を促すため |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|-----------------------------------|
- 問3 戦国時代の甲斐国（現在の山梨県）を治めた武田氏が定めた「甲州法度之次第」のように、各地の戦国大名が領国支配のために定めた法について、その特徴を説明したものとして適切なものはどれか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 鎌倉幕府が定めた御成敗式目をそのまま引用し、全国一律の公平な裁判を保証した。 | 2. 全国の公家を統制し、儀式や行事のあり方を細かく規定することで天皇の権限を制限した。 | 3. 朝廷が定めた律令制度を復活させ、中央集権的な国家体制を再構築することを目指した。 | 4. 家臣同士の私的な争いを禁じる喧嘩両成敗などの規定を設け、大名による裁判権を強化した。 |
|---|--|---|---|
- 問4 戦国大名の本拠地として発達した「城下町」の形成と役割について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大名が家臣や商工業者を城の周辺に集めて住ませ、政治・軍事・経済の拠点とした。 | 2. 農民が武器を持って城下町に集まることを推奨し、有事の際の防衛力を高めた。 | 3. 海外との貿易を独占するため、すべての城下町は海岸沿いの港町に隣接して造られた。 | 4. 戦乱による被害を避けるため、城の周囲には武士のみを住ませ、商人には立ち入りを禁じた。 |
|---|---|--|---|
- 問5 1549年、日本の鹿児島に上陸し、キリスト教を日本に初めて伝えたイエズス会の宣教師は誰ですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|---------|------------|--------------|
| 1. フランシスコ・ザビエル | 2. マゼラン | 3. マルコ・ポーロ | 4. ヴァスコ・ダ・ガマ |
|----------------|---------|------------|--------------|
- 問6 日本の歴史における主要な出来事を時系列で整理したとき、鎌倉幕府の成立、室町幕府の成立、応仁の乱に続いて、16世紀に発生した出来事としてふさわしいものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|------------------|---------------|-------------|
| 1. 元寇による博多への侵攻 | 2. 日明貿易（勘合貿易）の開始 | 3. 種子島への鉄砲の伝来 | 4. 御成敗式目の制定 |
|----------------|------------------|---------------|-------------|
- 問7 日本の歴史における13世紀から16世紀にかけての外交や出来事について、年代の古い順（先に起きた順）に並べたものとして正しい組み合わせはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 北九州の博多湾などに元軍が2度にわたり襲来した。→ 足利義満が勘合を用いて明と貿易を開始した。→ フランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられた。 | 2. フランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられた。→ 北九州の博多湾などに元軍が2度にわたり襲来した。→ 足利義満が勘合を用いて明と貿易を開始した。 | 3. 足利義満が勘合を用いて明と貿易を開始した。→ 北九州の博多湾などに元軍が2度にわたり襲来した。→ フランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられた。 | 4. 北九州の博多湾などに元軍が2度にわたり襲来した。→ フランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられた。→ 足利義満が勘合を用いて明と貿易を開始した。 |
|---|---|---|---|
- 問8 応仁の乱ののち、各地に登場した戦国大名が、自らの領内の武士や農民の行動を厳しく取り締まり、領地の安定と統治を強めるために独自に制定した法律を何といいますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------|----------|----------|
| 1. 公事方御定書 | 2. 分国法 | 3. 御成敗式目 | 4. 武家諸法度 |
|-----------|--------|----------|----------|
- 問9 会津地方を治めた蘆名氏や伊達氏が活躍していた日本の戦国時代において、世界で同時に起こっていた出来事として最も適切なものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. アメリカで奴隷制をめぐる南北戦争が勃発した | 2. ドイツのルターが聖書に基づき教会の腐敗を批判した | 3. フランスで市民が自由と平等を求めて革命を起こした | 4. アラビア半島でムハンマドがイスラム教を創始した |
|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
- 問10 戦国時代、鉄砲の伝来などにより戦術が変化し、大規模な軍事力とそれを支える安定した領地経営が不可欠となりました。こうした中、戦国大名が領国内の紛争を禁じたり、年貢の徴収を確実にしたりする目的で定めた「分国法」の性質として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------|--|---|
| 1. 幕府の許可を得た大名だけが、他国との貿易を制限するために定めた規則である。 | 2. 朝廷が全国の公家や武士に対して一律に適用した法律である。 | 3. 鎌倉時代の慣習法を整理し、武士の裁判を公平に行うために幕府が定めた法律である。 | 4. 戦国大名が、室町幕府の法によらずに自らの領土を統治するために独自に定めた法律である。 |
|--|---------------------------------|--|---|
- 問11 16世紀半ば、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが日本を訪れ、キリスト教を伝えた当時の世界情勢に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、勢力を立て直そうとするカトリック教会が海外への布教を積極的に進めていた。 | 2. 宗教改革によって誕生したプロテスタントの諸国が、アジアにおける植民地支配を広めるために宣教師を派遣していた。 | 3. 十字軍の遠征が成功したことで、キリスト教勢力がイスラム教勢力を圧倒し、アジア全域での布教が容易になっていた。 | 4. ルネサンスによる科学の発達により、日本の戦国大名から西洋の進んだ宗教や文化を導入したいという正式な要請があった。 |
|--|---|---|---|
- 問12 武田信玄が定めた法の中に、「喧嘩をした者は、いかなる理由によるものであっても、双方ともに処罰する」という、いわゆる『喧嘩両成敗』の規定が見られる。戦国大名がこのような厳しい規定を設けた主な目的として、最も適切なものはどれか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 家臣同士が私的な武力行使をすることを禁じ、大名の裁判権を確立して領国内の紛争を鎮めるため。 | 2. 朝廷から与えられた守護としての権限を、隣国の領主に対しても示すことで領土を拡大するため。 | 3. 農村における生産性を向上させるために、武士が農業に専念できる環境を整えるため。 | 4. キリスト教の博愛の精神を取り入れることで、家臣同士の平穏な共同体をつくるため。 |
|--|---|--|--|
- 問13 戦国時代の九州を代表する大名で、現在の府内（大分市）を拠点にキリスト教を保護し、有馬晴信や大村純忠とともにローマ教皇のもとへ「天正遣欧少年使節」を派遣した人物は誰ですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 大友宗麟 | 2. 朝倉義景 | 3. 今川義元 | 4. 北条氏康 |
|---------|---------|---------|---------|